

1 研究開発プロジェクト名:

地域における医療連携実現に向けた医療・介護ネットワーク構築の為の研究プロジェクト

2 当該年度の研究開発プロジェクト実施予定期間:

2017年10月1日から2021年3月31日 / 4年計画の1年目

3 応募者

氏名	濱川 博招
所属機関	株式会社ウィ・キャン
所属部局	
職名	代表取締役

4 研究開発プロジェクトの概要

現在日本では、高齢化の進展、医師不足・偏在化などが顕著になっております。厚生労働省では、効果的・効率的で高品質な医療・介護サービスを展開し、すべての人が必要な時に適切な医療・介護を受けられるような社会を実現するための環境整備が、早急に取り組むべき課題とされております。

その実現には、ICT を活用した医療・介護のネットワークを構築し、地域の医療機関情報連携を効果的に進める必要があります。

しかし、医療連携の現場においては、急性期病院から介護施設や在宅介護と、さまざまな機関・施設間で異なるスキル・バックグラウンドの人材が多く関わるために、言葉の不統一が見られます。例えば、「重症な患者」「重篤な状態」等で患者を表す場合がありますが、現在ではそれぞれの示す状態に差異があります。

そこでは私たちは、現在の地域医療連携に伴う、言葉の定義を共有して、上記の差異のある表現を地域ネットワーク内で収集し、定義に基づき比較検討し、言葉の分類・紐づけを行うことで、できるだけ標準化を行う。実際の医療連携現場の現状のニーズを汲み取り、小規模での医療・介護ネットワークの実現を目指し研究を行います。

具体的には、兵庫県において東播地域の民間医療機関の協力の基、試験的なモニターとして、その近隣地域にお住まいの65歳以上の男女180名を対象に現在の医療・介護機関の利用状況のヒアリングを行い、現在医療連携できていないことでの不備や問題点の調査を行います。

また対象者と協力病院の了承を得た上で、患者の医療・介護情報を電子化致します。電子化の項目に関しては、協力病院での標準的な問診内容とカルテ情報、検査データ基に作成致します。

そのデータを基にした、小規模の医療・介護ネットワークを構築します。

具体的な医療・介護ネットワークの概要は、

- ① セキュアなネットワークで構築されたサーバーを協力病院内に設置
- ② サーバーにて対象者の医療・介護情報を管理
- ③ 協力病院・介護施設にて専用のPCを設置し、対象者別で振り分けられたIDを入力することで、その患者の医療・介護情報が閲覧でき、また編集ができます。編集権限については、医師または、介護者に限定します。
- ④ 協力病院・介護施設間での患者情報交換が可能。
- ⑤ 参加病院・施設における患者・利用者からの要望およびクレームの蓄積・管理

以上の医療・介護ネットワークを構築致します。

対象者には年間を通して、通常通り医療・介護機関の利用を行なってもらい、そこから利用者のメリットとデメリットを患者と医療・介護機関の双方の目線から検証し、厚生労働省の推進する地域医療連携普及の為に資せる研究へとつなげて参ります。

平行して、参加医療機関の職員に対して患者対応やコミュニケーション面でもサポート、研修を実施して参ります。